

…今年度の取り組み紹介…

急性期看護研修

目的：急性期病院で働く看護師として専門性を発揮するために知識や技術を習得し、根拠に基づいた病態変化の予測やアセスメントといった看護実践能力を高める

救急医療や集中治療におけるガイドラインを理解し、治療内容の理解や病態変化の予測につなげることで、急性期の患者が安全に治療やケアを受けられるように医療機器を適切に使用できるなど、講義や演習を含めた内容で構成されています。

現場を変える力のある係長・主査を対象に実施しています!!



～患者・家族に寄り添う看護～
急性期看護に関する知識と技術を備え、的確に情報を得てアセスメントし、看護の視点から患者の状態変化を予測し対応することは、患者の全身状態やQOLの改善、安心感のために重要です。



……これからの認定看護師には急性期から在宅医療まで幅広く活躍することが期待されます……

▶ 新たな認定看護師教育

全ての認定看護師教育に
特定行為研修が組み込まれます

認定看護師教育
看護の専門性を基盤とした教育
特定行為研修
臨床推論力、病態判断力を強化する教育

臨床推論力、病態判断力が
強化されることで
あらゆる場のニーズに応えられる
認定看護師を養成できます

日本看護協会ホームページ
資格認定制度より

		年 度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027～
現行の 制度	認定看護師教育機関 認定審査		2019年度終了										
	認定看護師教育					2026年度終了							
新たな 制度	認定看護師教育機関 認定審査				2019年度開始								
	新たな認定看護師教育				2020年度開始								

表1 認定看護分野一覧と分野統合および分野名変更の理由

現行の認定看護分野 (21分野)	新たな認定看護分野 (19分野) 赤字：統合した分野 青字：分野名を変更した分野	分野統合および分野名変更の理由
救急看護	クリティカルケア	医療・社会のニーズから集中的な治療を必要とする患者へのケアに特化した新たな分野を創設した。分野名はクリティカル期にある重症患者を対象とすることから「クリティカルケア」とした
集中ケア		
緩和ケア	緩和ケア	症状緩和技術やがん性疼痛に対する薬剤の知識などの両分野の強みをいかに幅広く活動できる分野とするため統合した。分野名は非がん患者に対するケアの充実が期待されているため「緩和ケア」とした
がん性疼痛看護		
がん化学療法看護	がん薬物療法看護	がん対策基本法に基づく第3期がん対策推進基本計画から「化学療法」が「薬物療法」に変更されたため
訪問看護	在宅ケア	入院施設等の退院支援実践者も受講するようになり、現行の分野名ではCNの役割を表現しきれなくなっているため
不妊症看護	生殖看護	近年では「生殖医療」に不妊症が包含されているため
透析看護	腎不全看護	透析導入を予防するためには「透析看護」では不十分なため
摂食・嚥下障害看護	摂食嚥下障害看護	「摂食・嚥下」から「摂食嚥下」へ用語が変更となったため
小児救急看護	小児プライマリケア	救急場面だけではなく外来・地域などのプライマリの場を中心として子どもの健康問題に対応できるようにするため
脳卒中リハビリテーション看護	脳卒中看護	「リハビリテーション」という用語によって看護を提供する場が限定されたイメージであるため
慢性呼吸器疾患看護	呼吸器疾患看護	急性と慢性が連続性を持った病態であるため、区分せずに専門的なケアの提供が必要であるため
慢性心不全看護	心不全看護	
皮膚・排泄ケア	皮膚・排泄ケア	
感染管理	感染管理	分野統合や分野名に変更なし
糖尿病看護	糖尿病看護	
新生児集中ケア	新生児集中ケア	
手術看護	手術看護	
乳がん看護	乳がん看護	
認知症看護	認知症看護	
がん放射線療法看護	がん放射線療法看護	

新たな認定看護師教育の時間数は、
特定行為区分別科目を含めて800時間程度。
現行の教育より長くなりますが、新たな教育
ではe-ラーニングを併用した教育を可能と
するため、e-ラーニングを併用することで
集合教育期間はこれまでと同様の6ヶ月程度
となります。
詳細は、下記よりご確認ください。



認定看護師教育機関は
こちらのQRコードより

認定看護師への道
新たな認定看護師教育はこれに
特定行為研修が追加されます



大和高田市立病院
看護ケア推進委員会
担当：里内・一林